

## 6号機原子炉建屋における水漏れについて

定期検査中の6号機において、平成18年1月18日午後2時31分、原子炉建屋地下2階に設置されている高電導度サンプ\*<sup>1</sup>の水位上昇を示す警報が発生いたしました。廃棄物処理建屋の運転員が当該サンプの確認を行っていたところ、同日午後2時37分、原子炉建屋地下2階で水漏れがあるとの連絡を協力企業作業員より受けました。

このため、当該運転員が建屋内を確認したところ、原子炉建屋地下2階の広い範囲にわたり、部分的な水たまりが点在していることを確認いたしました。

調査の結果、当該サンプには、機器の点検時に発生する排水等が流入しますが、サンプポンプ\*<sup>2</sup>が本来自動で起動すべき水位に達したにもかかわらず起動せず、さらに水位の上昇が継続したため水位高の警報が発生し、その後、当該サンプにつながる複数の排水口および当該サンプより排水が溢れたことがわかりました。

当該サンプポンプが自動起動しなかった原因は、当該サンプポンプを水位に応じて自動起動させる検出器が故障していたものです。

今回の対応として、当該検出器の取り替えを行うとともに、当該サンプポンプの自動起動回路の点検を行い、健全であることを確認いたします。

また、今後、対策を検討することといたします。

なお、漏えいした水の量は約280リットル（堰内で280リットル、堰外で0.2リットル）、堰外へ漏えいした水の放射エネルギーは約 $1 \times 10^4$ ベクレルであり、拭き取り清掃を実施しております。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以上

\*1 高電導度サンプ

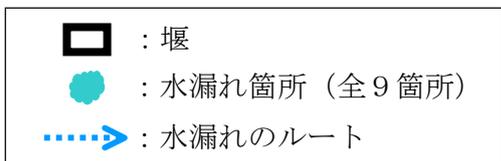
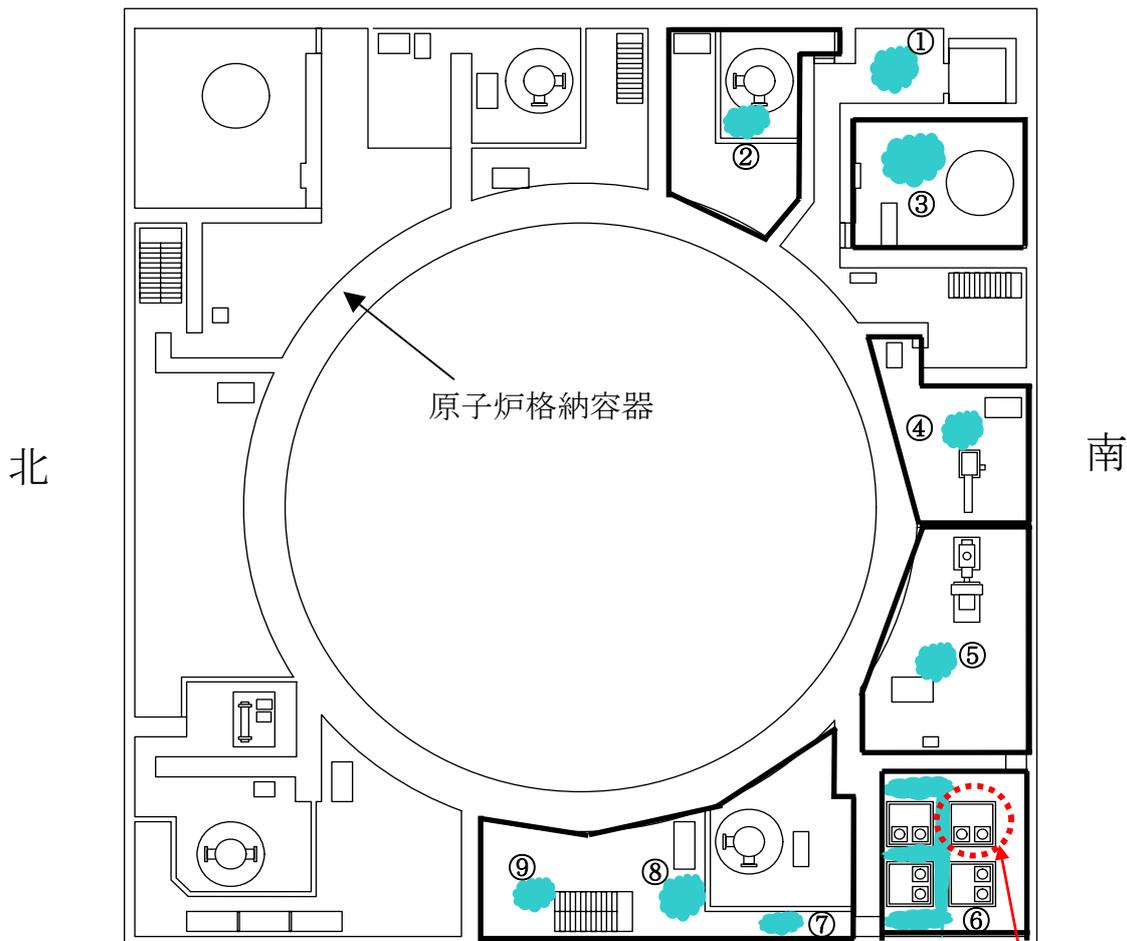
機器、配管等から床に漏れた水（床排水）や機器の点検時に発生する排水等を一時貯蔵する槽。

\*2 サンプポンプ

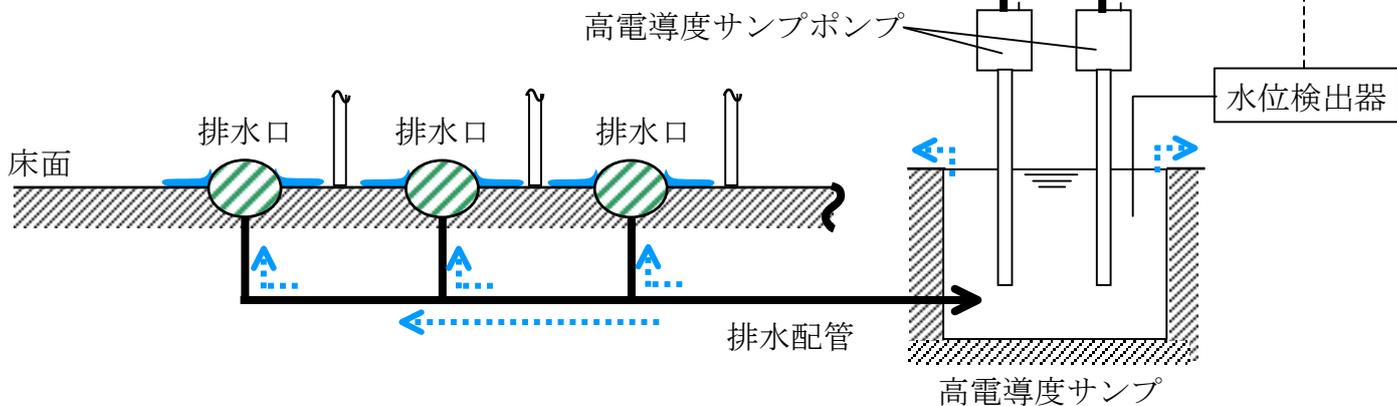
サンプに溜まった水を廃棄物処理系に送るためのポンプ。

これは「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成15年11月10日お知らせ済み）における区分Ⅲの事象として、前日に発生した不適合事象を翌営業日に公表しているものです。

# 原子炉建屋 地下2階平面図



## 水漏れ箇所断面図



## 6号機原子炉建屋内水漏れ概略図